

第2章

春日部駅・八木崎駅周辺の バリアフリー化の現状

1. 春日部市のバリアフリーに関する施策

(1) 春日部市内のバリアフリー法における認定建築物

春日部市内にある、以下の建物については、高齢者・障がい者等が利用しやすい建築物として既に認定を受けています。

■ バリアフリー法における認定建築物一覧

NO	認定年度	建築物名称	用途
1	1996年度 (平成8年度)	春日部市総合福祉センター	福祉施設
2	1996年度 (平成8年度)	春日部市健康福祉センター 武里出張所	老人福祉施設
3	1998年度 (平成10年度)	春日部市男女共同参画推進総合センター	複合施設
4	1998年度 (平成10年度)	厚川ショッピングビル (マルエツ)	物販店舗
5	2008年度 (平成20年度)	都市型児童センターほか	福祉施設

出典 | バリアフリー法認定建築物一覧 (埼玉県 HP)

(2) 公営住宅のバリアフリー化

春日部市住生活基本計画(2011年(平成23年)3月策定)では、バリアフリーに関する住宅施策の基本方向の一つとして「子供やお年寄りだれもが安心して豊かに暮らせる住まい・まちづくり」を掲げています。

こういったなか、本市では公営住宅のバリアフリー化を順次進めています。

(3) 春日部駅構内通行費用支援事業

春日部駅構内を通行するために必要な普通入場券および定期入場券の購入費用について、75歳以上の市内在住者など一定の条件に当てはまる場合、事前登録認定を受けることで、通行費の一部を補助する制度です。

(4) 子育てふれあい公園リニューアル事業

遊具や休養施設の更新や、出入口および園路などのバリアフリー化などにより、子育て世代を中心に、子どもから高齢者まで幅広い世代と一緒に触れ合える公園にリニューアルする事業です。

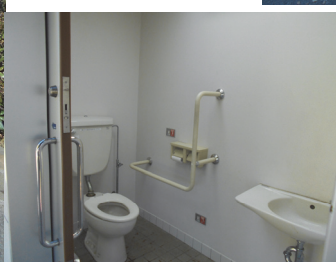
■ 図11 | バリアフリー化された公園



中央町第5公園



公園内に設置された水飲み場



公園内のトイレ

(5) コミュニティバス運行事業

持続可能な利便性の高い市内公共交通ネットワークの形成を図るため、鉄道・民間路線バス網を補完し、だれもが利用でき、環境に配慮した乗合バス方式で、低床化した春日部市コミュニティバス(春バス)の運行を行っています。

(6) ノンステップバス導入促進費補助金

路線バスの利便性及び快適性の向上を図るとともに、路線バスのバリアフリー化を促進するため、超低床ノンステップバスを導入する路線バス事業者及び路線バス貸与事業者に対し、補助金を交付しています。

■ 図12 | ノンステップバス



2. バリアフリーに関する市民意向等

本市では、よりよいまちづくり環境の整備に向けた施策を展開するため、市民意識調査をはじめとして、まちづくり関連や福祉関連などさまざまな分野において市民の貴重なご意見を聴取しており、その中でバリアフリーに関するご意見もいただいています。

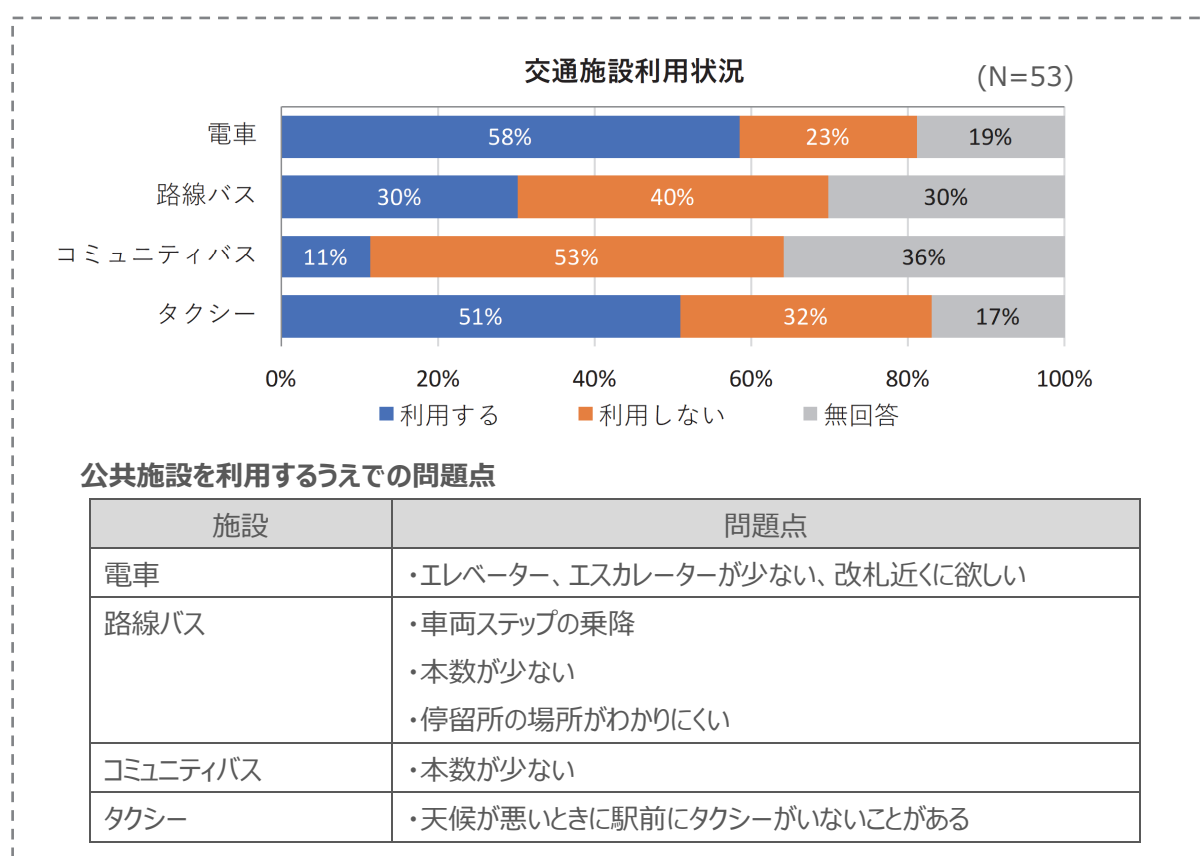
(1) 春日部駅周辺のバリアフリー化に関するアンケート（2019年（令和元年））

2019年(令和元年)に実施した「春日部駅周辺のバリアフリー化に関するアンケート」では、審議会委員を選出している春日部市社会福祉協議会及び市障がい者支援課の協力・情報提供を受け、障がい者及びその関係者(N=53人)を対象に、春日部市内の主要な施設を利用するうえでの問題点について伺っており、結果は次のとおりです。

《交通施設の利用状況と問題点》

- 電車の利用者割は半数を超えていますが、近傍の移動として利用可能な、路線バスは30%、コミュニティバスは11%と利用率は低く、タクシー移動が半数を超えています。
- 鉄道利用は、エレベーター、エスカレーターや階段に関する「上下移動に関する問題」が指摘されています。
- 路線バス、コミュニティバス、タクシーは、運行本数が少ない、乗り場がわからないといった「サービス面での問題」が指摘されています。

■ 図 13 | 交通施設利用状況と利用するうえでの問題点



出典 | 春日部駅周辺のバリアフリー化に関するアンケート（2019年度（令和元年度））

《よく利用する道(ルート)の問題点》

よく利用する道(ルート)について、以下のような問題があると回答がありました。

[駅、駅前広場]

- 駅ホーム柵がないので怖い。
- 駅前ロータリーの車道と歩道に段差がある。

[歩道]

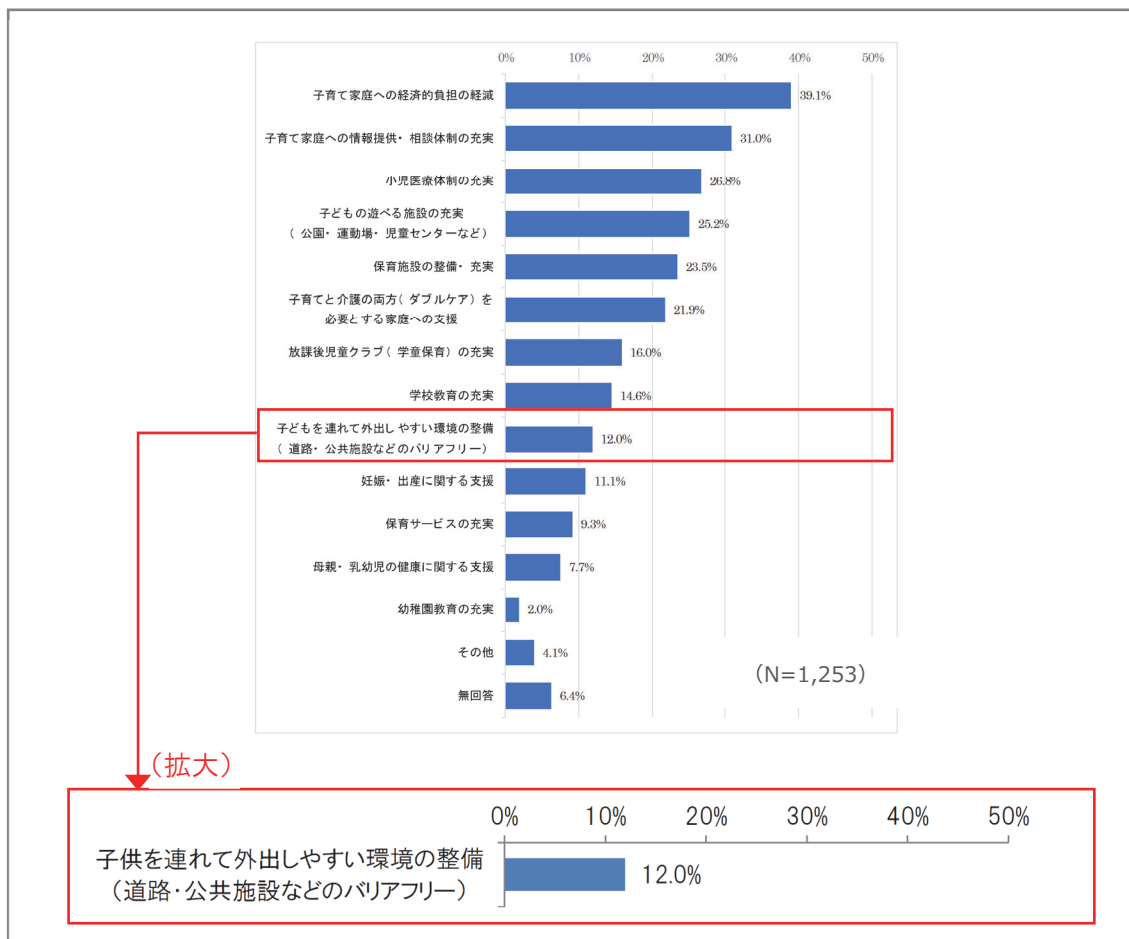
- 歩道に段差が多い。
- 街路樹が視界を遮る、根で段差が生じている。
- 車椅子では通行できない幅員の狭い歩道がある。
- 視覚障がい者ブロック上に人が多い。

(2) 市民意識調査 (2019 年度 (令和元年度))

《行政の取組》

- 子育て環境について、「子供を連れて外出しやすい環境の整備(道路・公共施設などのバリアフリー)」が重要であると約1割の方が回答しています。

■ 図 14 | 子育て環境に関して重要なこと



出典 | 市民意識調査 転出者・転入者アンケート 結果報告書 (2019 年度 (令和元年度))

○行政の取り組み状況に関する満足度・重要度からニーズ度について解析した結果、「安心・安全に通行できる生活道路の整備」が全66項目の4番目に高い項目になっています。また、「障がい者(児)の社会参加の促進」については、全66項目の32番目になっています。

■ 図 15 | 行政の取り組み状況のニーズ度

順位	評価項目	満足度	重要度	ニーズ度	順位	評価項目	満足度	重要度	ニーズ度
1	鉄道駅周辺の更新・再生(安全で良好な市街地の形成)	2.263	3.801	1.538	34	職員の育成と効果的な組織運営	2.797	3.502	0.705
2	魅力とにぎわいのある中心市街地の創出	2.387	3.582	1.194	35	魅力ある観光資源の連続性向上と情報発信	2.619	3.324	0.705
3	中心市街地にふさわしい活気あふれる商店街の形成	2.307	3.501	1.194	36	充実した学校環境づくりの推進	2.845	3.545	0.700
4	<u>安心・安全に通行できる生活道路の整備</u>	2.593	3.655	1.061	37	戦略的・計画的な行政運営の推進	2.754	3.445	0.691
5	公共交通ネットワークの形成(便利に利用できる公共交通の充実)	2.609	3.647	1.038	38	安全・安心で豊かな消費生活の推進	2.899	3.590	0.691
6	仕事と子育ての両立支援	2.718	3.715	0.997	39	魅力ある農産物の生産と消費拡大	2.693	3.383	0.690
7	出産や育児に希望が持てる地域社会の確立	2.839	3.830	0.991	40	適正な健康保険事業の推進	2.876	3.519	0.644
28	「生きる力」を育む学校づくりの推進	2.847	3.585	0.737	61	男女共同参画の推進	2.894	3.178	0.283
29	多様な働き方への支援	2.628	3.361	0.733	62	郷土の歴史と文化遺産の保護と活用	2.939	3.193	0.255
30	障がい者(児)の自立と生活支援	2.795	3.522	0.728	63	文化・芸術の創造と振興	2.922	3.173	0.251
31	総合的な治水対策の推進	2.917	3.644	0.726	64	スポーツ・レクリエーション活動の推進	2.950	3.194	0.245
32	<u>障がい者(児)の社会参加の促進</u>	2.770	3.493	0.723	65	コミュニティ活動の活性化	2.957	3.190	0.233
33	病気の予防と早期対策の充実	2.888	3.606	0.717	66	市民参加と協働の推進	2.960	3.163	0.204

順位	評価項目	満足度	重要度	ニーズ度
4	<u>安心・安全に通行できる生活道路の整備</u>	2.593	3.655	1.061
32	<u>障がい者(児)の社会参加の促進</u>	2.770	3.493	0.723

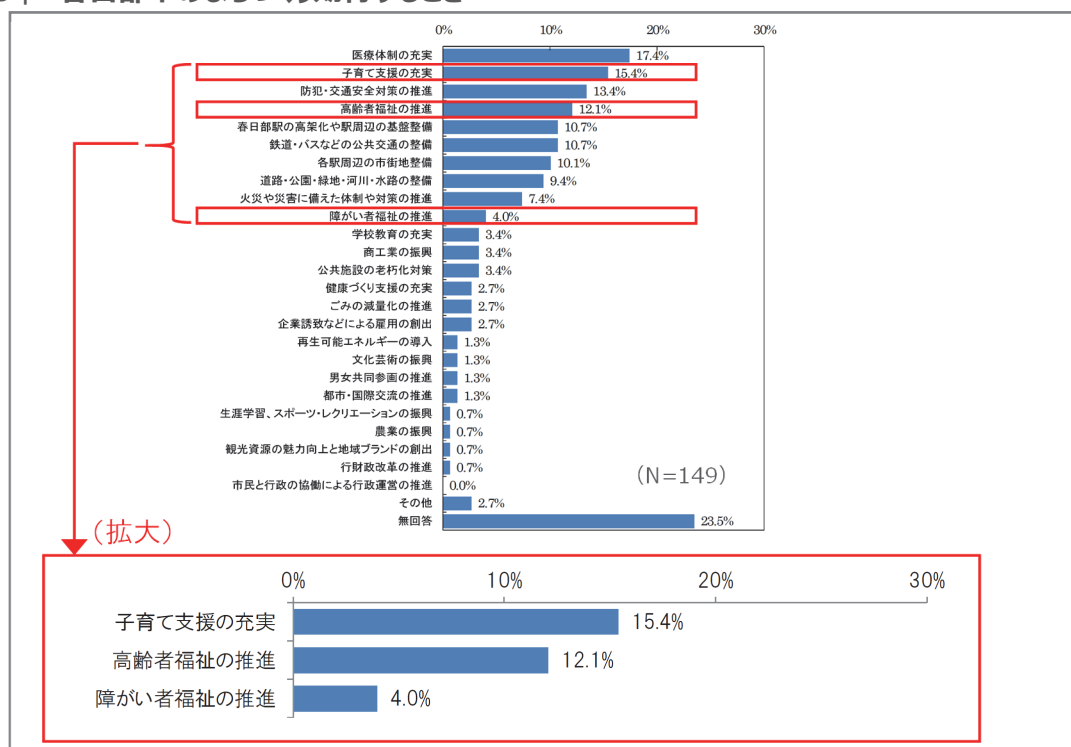
(N=1,253)

出典 | 市民意識調査 転出者・転入者アンケート 結果報告書 (2019年度(令和元年度))

《春日部市のまちづくりに対して期待すること》 ※春日部市転入者を対象に調査

○春日部市のまちづくりに期待することについて、「子育て支援の充実(15.4%)」、「高齢者福祉の推進(12.1%)」、「障がい者福祉の推進(4.0%)」など、バリアフリーに関連する項目が、全26項目中、上位10項目に入っています。

■ 図 16 | 春日部市のまちづくり期待すること

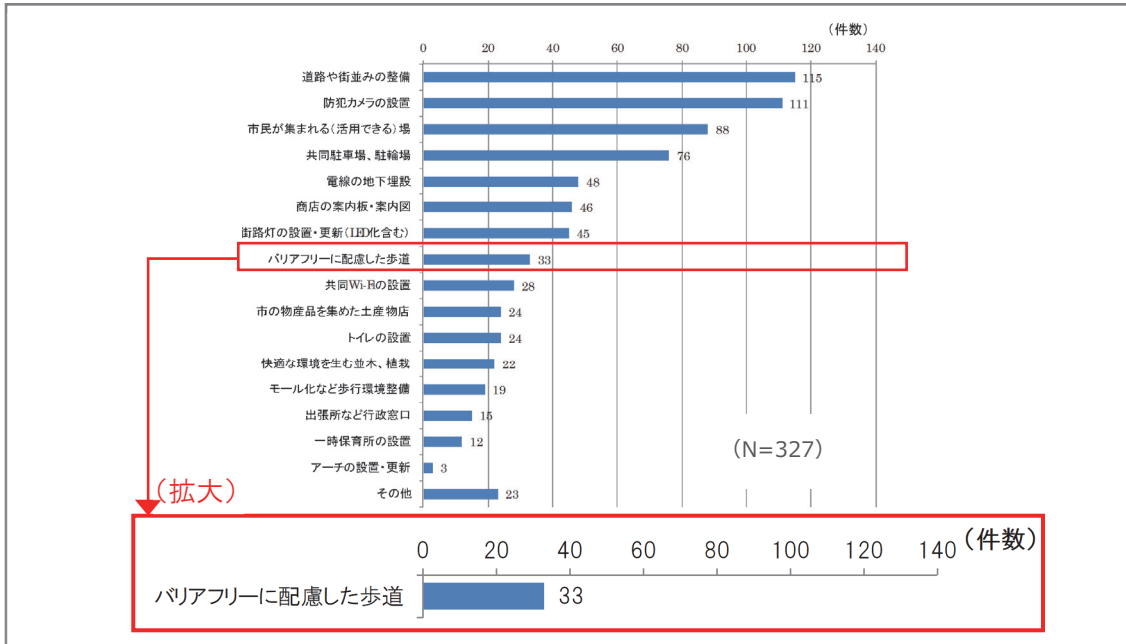


出典 | 市民意識調査 転出者・転入者アンケート 結果報告書 (2019年度(令和元年度))

(3) 商店街の活性化に関わるアンケート調査 (2017年 (平成29年))

《これからの商店街にハード面として期待すること》 ※各商店街(会)等の会員及び非会員を対象に調査
 ○「バリアフリーに配慮した歩道」が重要であると約1割の方が回答しています。

■ 図17 | これからの商店街にハード面として期待すること



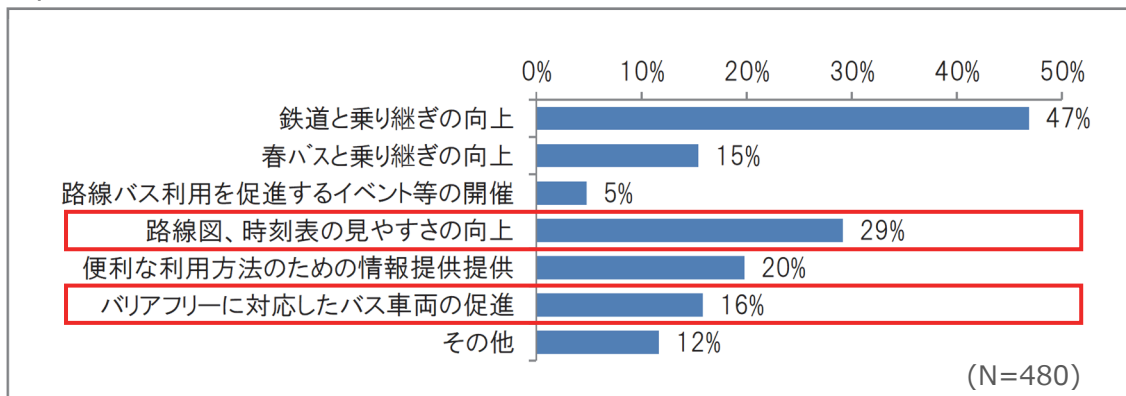
出典 | 2017年度 (平成29年度) 商店街の活性化に関わるアンケート調査報告書及び商店街経営実態調査報告書

(4) 公共交通に関する市民アンケート (2014年 (平成26年))

《路線バスに関する要望》 ※路線バス利用者を対象に調査

- 情報のバリアフリーとして「路線図、時刻表の見やすさを向上して欲しい」と約3割の方が回答しています。
- 「バリアフリーに対応したバス車両を促進して欲しい」と約2割の方が回答しています。

■ 図18 | 路線バスに関する要望

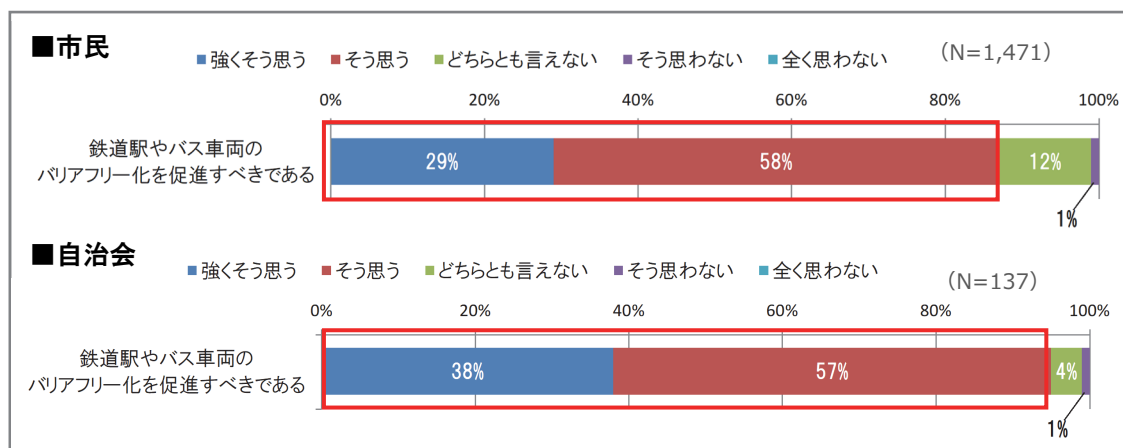


出典 | 春日部市地域公共交通網形成計画 (2015年 (平成27年) 11月)

《公共交通全般に関する市の取組の方向性》

○「鉄道駅やバス車両のバリアフリー化の促進」について必要性を伺ったところ、市民では8割以上の方が、自治会では9割以上が「強くそう思う・そう思う」と回答しています。

■ 図19 | 鉄道駅やバス車両のバリアフリー化の促進の必要性



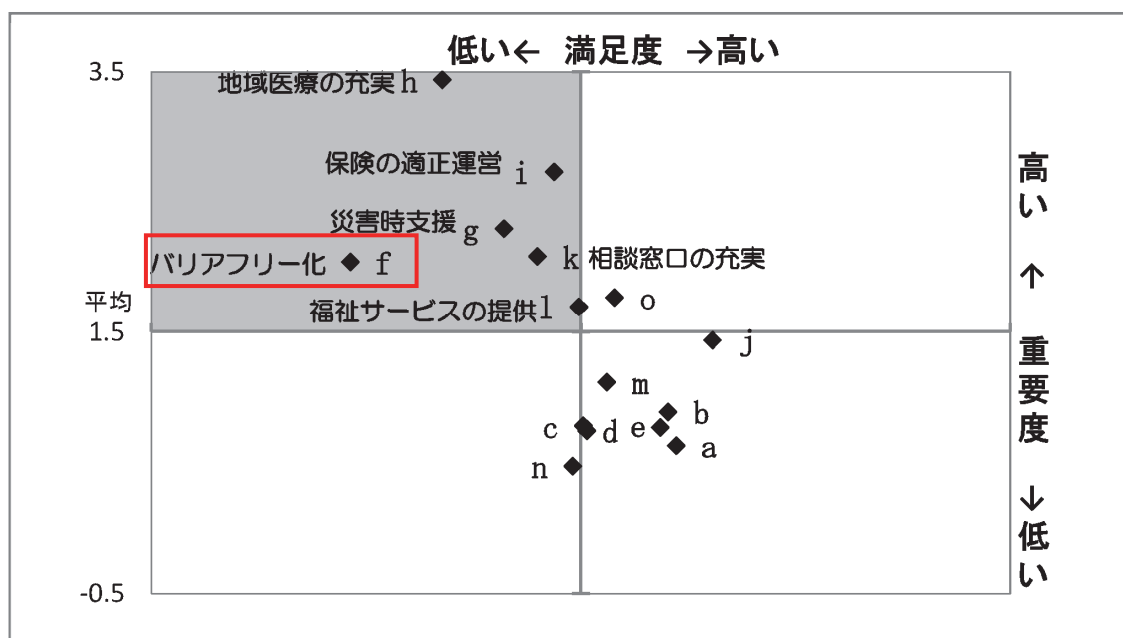
出典 | 春日部市地域公共交通網形成計画 (2015年(平成27年)11月)

(5) 地域の福祉活動に関する市民意識調査 (2017年(平成29年))

《地域福祉推進に必要なこと》

○「交通機関や建物などのバリアフリー化」については、重要度は高いが、現時点での満足度は低い結果となっています。

■ 図20 | 地域福祉推進に必要なこと

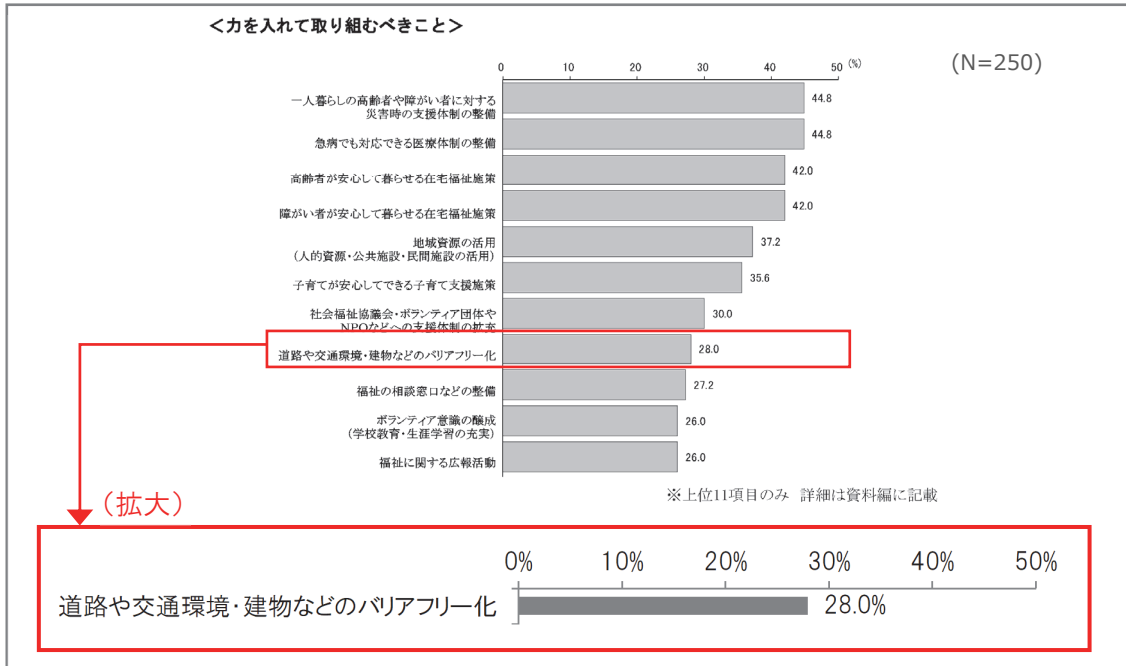


出典 | 春日部市地域福祉計画 (2019年(平成31年)3月)

《福祉施策に力を入れるべきこと》 ※福祉関係団体を対象に調査

○「交通機関や建物などのバリアフリー化」に力を入れるべきであると約3割の方が回答しています。

■ 図21 | 福祉施策に力を入れるべきこと



出典 | 春日部市地域福祉計画 (2019年 (平成31年) 3月)

(6) 第4期春日部市障害者計画策定に係るアンケート調査(2020年(令和2年))

《外出するときに困ること》

- 外出するときに困ることでご意見が多かったのは、「一人では外出できない」となっています。これは、障害種別に関わらず上位となっていることから、道路等の物理的なバリアだけではなく、情報不足等を要因とした外出の困難さにも要因があると想定されます。
- そのほか、外出するときに困ることについては、「道路や駅に段差や階段が多い」、「利用する建物の設備(トイレ等)が不便」など、物理的な内容が上位になっています。
- 精神障がい者については、「人の目が気にかかる」といった心のバリアフリーに関連する内容が上位になっています。

■ 図22 | 外出するときに困ること(上位3項目・複数回答)

	1位	2位	3位
身体障がい者	疲れやすい	道路や駅に段差や階段が多い	一人では外出できない
	25.5%	22.3%	20.4%
身体障がい児	利用する建物の設備(トイレ等)が不便	一人では外出できない	道路や駅に段差や階段が多い
	41.9%	35.5%	29.0%
知的障がい者	一人では外出できない	人と話すのが困難	特に困ることはない
	39.5%	34.1%	21.7%
知的障がい児	一人では外出できない	人と話すのが困難	車などに危険を感じる
	54.4%	25.6%	18.9%
精神障がい者	疲れやすい	人の目が気にかかる	経費がかかる
	46.2%	26.1%	25.8%
難病患者	道路や駅に段差や階段が多い	疲れやすい	経費がかかる
	52.9%	41.2%	29.4%

※複数回答のため、合計が100%を超える場合があります。

アンケートに関する資料の出版 | 障がい者支援課

《地域行事へ参加するために大切なこと》

○「障がいのある人も使いやすい施設の整備」といった物理的な内容だけではなく「障がいのある人が参加しやすい機会をつくる」、「障がいのある人に対する理解を深める」など心のバリアフリーに関連する内容が上位を占めています。

■ 図23 | 地域行事へ参加するために大切なこと（上位3項目・複数回答）

	1位	2位	3位
身体障がい者	障がいのある人が参加しやすい機会をつくる	障がいのある人も使いやすい施設を整備し、福祉サービスの充実を図る	移動困難な障がいのある人に配慮して、交通機関や道路を整備する
	23.6%	22.4%	19.0%
身体障がい児	地域や社会の人々が障がいのある人を受け入れるよう、障がいのある人に対する理解を深める	障がいのある人が参加しやすい機会をつくる	障がいのある人も使いやすい施設を整備し、福祉サービスの充実を図る
	45.2%	35.5%	32.3%
知的障がい者	地域や社会の人々が障がいのある人を受け入れるよう、障がいのある人に対する理解を深める	障がいのある人が参加しやすい機会をつくる	社会参加を支援する福祉施設や専門員を多数育成する
	40.3%	28.7%	21.7%
知的障がい児	地域や社会の人々が障がいのある人を受け入れるよう、障がいのある人に対する理解を深める	障がいのある人が参加しやすい機会をつくる	社会参加を支援する福祉施設や専門員を多数育成する
	44.4%	40.0%	25.6%
精神障がい者	地域や社会の人々が障がいのある人を受け入れるよう、障がいのある人に対する理解を深める	障がいのある人が参加しやすい機会をつくる	障がいのある人自身が積極性を持てること
	36.8%	30.1%	22.7%
難病患者	障がいのある人も使いやすい施設を整備し、福祉サービスの充実を図る	移動困難な障がいのある人に配慮して、交通機関や道路を整備する	障がいのある人が参加しやすい機会をつくる
	64.7%	29.4%	23.5%

※複数回答のため、合計が100%を超える場合があります。

アンケートに関する資料の出典 | 障がい者支援課

《今後、力を入れて欲しい施策について》

○専門的な医療機関の確保や専門的なリハビリ、機能訓練の実施といった専門機関による対応だけでなく、身体障がい者、難病患者については、「障がいのある人に配慮した道路・建物・駅などの整備」などの物理的な内容や、「市民に対する障がいのある人への差別の禁止と理解・啓発の促進」などの心のバリアフリーに関連する内容がみられます。

■ 図24 | 今後、力を入れてほしい施策について（上位3項目・複数回答）

	1位	2位	3位
身体障がい者	障がいのある人を診察してくれる専門的な医療機関の確保	障がいのある人の専門的なリハビリ、機能訓練の実施	障がいのある人に配慮した道路・建物・駅などの設備
	28.8%	25.2%	21.3%
身体障がい児	障がいのある人を診察してくれる専門的な医療機関の確保	障がいのある人の専門的なリハビリ、機能訓練の実施	通所施設・作業所などの充実
	51.6%	48.4%	38.7%
知的障がい者	障がいのある人を診察してくれる専門的な医療機関の確保	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対する障がいのある人への差別の禁止と理解・啓発の促進 災害時における障がいのある人の避難誘導體制の確立と避難所の充実 	
	41.1%	31.8%	
知的障がい児	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人を診察してくれる専門的な医療機関の確保 障がいのある人の働く場の確保 		療育機関の整備・充実と専門職の配置
	42.2%		28.9%
精神障がい者	障がいのある人を診察してくれる専門的な医療機関の確保	市民に対する障がいのある人への差別の禁止と理解・啓発の促進	障がいのある人の働く場の確保
	36.5%	36.1%	30.8%
難病患者	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人を診察してくれる専門的な医療機関の確保 在宅サービスの充実 		障がいのある人の専門的なリハビリ、機能訓練の実施
	47.1%		41.2%

※複数回答のため、合計が100%を超える場合があります。

アンケートに関する資料の出典 | 障がい者支援課

